

Secean

volume 24*

Kanagawa Coastal Environmental Foundation



公益財団法人かながわ海岸美化財団

150km の海岸をチェック 今日も海岸パトロールに出かけます

財団では、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸までの約 150km の自然海岸を 5 つのエリアに分けて、パトローラーが 1 日 1 エリアを確認しています。海岸によってごみの状況は様々。また、同じ海岸といえども雨や風、潮の影響や来遊客数でごみの状況はめまぐるしく変化します。そのため、効率的・効果的な清掃を実施するには、日々のパトロールが欠かせません。パトロールといっても、ただ海岸を見て回るだけではありません。清掃業者の現場監督、汚れた箇所の清掃、ボランティアごみの回収など一人何役もこなしています。



5 エリアに分けてパトロール 海岸パトロールエリア



海岸パトロールは 5 つのエリアに分けて、毎日実施しています。横須賀三浦駐在事務所は「横須賀葉山パトロールエリア」と「三浦パトロールエリア」を、本部は「東パトロールエリア」・「西パトロールエリア」・「西湘パトロールエリア」を担当。基本的に同じ海岸を 1 週間に 2 回パトロールするようにしています。

財団はパトロールエリアの 13 市町と県が海岸美化を一元的に実施するため設立した組織です。

特殊加工した専用車 パトロール用車両

パトロール用車両は、4WD の軽ダンプと 1 トンダンプを使用。車両が入れる海岸では、実際に海岸を走行してパトロールするため、鍛の進行がとても早く、その対策として荷台はステンレス張りにし、下回りは防錆塗装などの特殊加工を施しています。4WDといえども、砂浜に埋まってしまうときがあるので、走行は要注意。スコップと脱出用の踏み板は必需品です。もちろん、海岸を利用している方々の安全に配慮しながらゆっくり進みます。



ひとり何役もこなします パトロールの仕事

海岸ごみの漂着状況の確認



各海岸の定点で写真を撮影し、ごみの漂着状況と海岸美化度の評点を記録していきます。帰所後は、16時半までにどの海岸にどれくらいのごみがあるのかを「海岸パトロール結果報告書」にまとめ、このデータが翌日以降の清掃計画に反映されていきます。

業者清掃の確認・調整

美化財団では、清掃エリアを15の工区に分けて、23の業者・団体に清掃を委託しています。

当日、清掃作業を行っている委託業者・団体の現場を回り、清掃の確認と調整を行います。

この日は、ごみの漂着量と場所を確認し、どこから清掃を始めかなどの手順を調整しました。



直営清掃



ごみが目立つ場所をパトローラーが清掃するのも仕事の一つ。この日は、海岸の一角にバーベキューごみが散乱しているのを発見しました。このままではカラスにいたずらされて散乱したり、風で吹き飛んでしまうため、即時に拾い集めます。また、大きな流木等はチェーンソーを使用して、小さく切断して回収します。

ボランティアごみの回収

海岸沿いを進んでいくと、要所要所にボランティアの方が集めたごみが集積されています。それらを回収するのも大切な仕事の一つ。ボランティアの方の熱意に応えるためにも、出来るだけ早く巡回して回収します。



最後は洗車

事務所に戻ってまずやることは洗車です。海岸で使用するため、鏽は大敵。砂と塩分をきれいに洗い落す作業は欠かせません。こうして毎日、洗車していても、5年前後で車体フレーム等が鏽でボロボロになり寿命を迎えてします。



平成 27 年度 海岸清掃事業 概要

平成 27 年度は、前年度とうってかわり、13 個の台風が上陸、接近するという、県下の海岸に影響を及ぼした台風が非常に多い年でした。5 月の連休明けから台風 6 号が襲来し、7 月は台風 11 号、9 月には台風 18 号が大量のごみを海岸にもたらしました。

海岸の清掃作業を行いましたが、年間の可燃、不燃の海岸ごみの合計量は 2,440 トンで、前年度から約 20% も増え、海岸美化の維持に大変苦労した一年となりました。



平成 27 年度 1 年間の海岸状況

5 月 季節外れの台風襲来



ゴールデンウィークが明けた 5 月 12 日に台風 6 号が発生。5 月上旬に台風 6 号が発生するのは 1971 年以来 44 年ぶりという季節外れの台風は、夜には温帯低気圧に変わったものの、13 日には大雨とともに関東地方を通過して行きました。その影響により、藤沢市（片瀬東浜・境川河口部）、平塚市（平塚市全域）、大磯町（大磯町全域）、小田原市（酒匂川河口部）など、河川河口部を中心とした海岸に大量のごみが漂着しました。

大量漂着の要因として、この台風 6 号が半年ぶりの大霖だったこと、短時間に予想以上の大雨が降ったこと、温帯低気圧の通過後、南西の風が強く吹いたことなどが挙げられます。

短時間の大霖により、川岸などにこれまで溜まっていたごみが全て海まで流れ出て、それらが南西風によって一気に海岸に漂着したものと推測されます。

5月 バーベキュー (BBQ) ごみシーズンの始まり



平成 27 年度も、ゴールデンウィークから一気に BBQ ごみが増え始め、週末の度に、大量の BBQ 関連ごみが海岸に捨てられていく状況が秋まで続きました。

こうした現状を踏まえ、財団の情報提供を元に県や地元の市町においても、パトロールや啓発活動を強化するなど、さまざまな取組が実施されました。



7月 台風 11号襲来

5月の台風 6号により、河川敷等に溜まっていたごみがある程度一掃され、夏季は安定した状況で迎えられると考えていましたが、7月 16 日に襲来した台風 11号の影響で、山間部を中心に大雨が降り、茅ヶ崎市から小田原市の海岸に大量のごみが漂着しました。7月 18 日からの海の日 3連休を間近に控えたタイミングでの台

風襲来で、早急な清掃が必要なため、平塚市、大磯町、小田原市の海岸では緊急清掃を実施しました。また、その後しばらくの間、この台風の影響で海上に流出したごみが、横須賀市から藤沢市の東方面の海岸に、夏季の南西風によってだらだらと漂着する状況だったため、継続的な清掃を求められました。



8月 三浦半島の西側に流木が大量に漂着



8月 12 日、三浦市荒井浜海水浴場の海上に、長さ約 10m 太さ約 60cm の巨大流木が流れてきました。

流木は海面をブカブカと浮かんでいましたが、波で海水浴客に衝突する可能性があり、早急な対応が必要なため、地元漁師が近隣の漁港に引き上げ、美化財団がチェーンソーで細かく切断し、市の処分場に搬入し、処理を行いました。

花火大会のごみ



各所で花火大会が開催され、次の日は早朝から清掃を開始しました。海岸だけでなく、歩道や植栽にまでごみが捨てられていました。食べ物などの容器やビン・缶に混じり、非常に多かったのが、やはり海岸に放置されたレジャーシート。それらのほとんどがその場で使っただけの新品で、回収したシートの塊が山のようになりました。

9月 台風 18号襲来



台風 18 号は、9月 9 日 10 時過ぎに愛知県知多半島に上陸した後、日本海に進み、同日 21 時に温帯低気圧に変わりました。これにより南から湿った空気が流れ込み、関東地方と東北地方で記録的な大雨となった結果、鬼怒川が決壊し茨城県常総市周辺で大規模浸水が発生しました。

神奈川県の海岸においても、特に平塚市から小田原市の海岸に大

量の人工ごみや流木、木くずが漂着しました。通過後 9 月の大型連休であるシルバーウィークに来遊客が多く見込まれる海岸の清掃から着手しました。平成 27 年度 3 回目の大量ごみの発生のため、平塚市、大磯町、小田原市の 3 海岸では緊急海岸清掃費が底を付きましたが、神奈川県から緊急清掃費の増額を得て、清掃作業を行いました。

12月 爆弾低気圧襲来

12 月 10 日から 11 日にかけては爆弾低気圧が本州を通過し、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、神奈川県でも 12 月としては記録的な降水量と高温を記録しました。

その影響で、藤沢市、平塚市、真鶴町の海岸に大量のごみが漂着し、緊急清掃を実施しました。



2月 小田原市にマッコウクジラが漂着



2月 13日、小田原市酒匂海岸に体長約 15 メートルのマッコウクジラの死骸が漂着しました。このクジラは2月 6日に伊豆大島の北西沖で高速ジェット船と衝突し、相模湾を漂流していたものと考えられます。クジラの死骸は、再び海に流れ、15 日には小田原市国府津海岸に再漂着した後、小田原市によって埋却処分されました。

2月 バレンタインデーに春の嵐が襲来

例年、2月の海岸にはごみがほとんど漂着しませんが、バレンタインデーの2月 14 日は、発達した低気圧の影響で全国的に猛烈な春の嵐に見舞われました。その影響で、海岸には人工ごみ混じりの木くずが大量に漂着しました。特にごみの漂着がひどかった平塚市域の海岸において、緊急清掃を実施しました。



3月 大磯町にミンククジラが漂着

3月 30 日、西湘バイパス大磯西インターチェンジ前の海岸に体長約 7 メートルのミンククジラの死骸が漂着しました。クジラは翌日、大磯町によって海岸に埋却処分されました。(写真提供：大磯町)



平成 27 年度 財団直営部隊における海岸ごみ清掃事業

7月から 10月末までの 69 日間、4人組み 1 班体制の財団直営部隊で清掃に取り組みました。

海水浴から秋の行楽シーズンにかけての海岸一番の繁忙期においては、業者清掃は海岸の汚れ度だけではなく、利用頻度や目的なども考慮して、優先順位をつけて広範囲にわたり清掃を実施する必要があります。

そのため直営清掃では、ごみ量が多く短期間に清掃を完了したい

場所における業者清掃の応援や、手が回らない優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、この時期の海岸美化においてかなり重要な役割を果たしました。

平成 27 年度はこの直営清掃により 162,565kg のごみを回収しました。屈強な 4 人の人力作業により、上記期間中は 1 日に 2,356kg、ひとりが 589kg のごみを回収したことになります。



平成 27 年度 美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。春と秋には、県下の海岸の一斉クリーンアップを開催しました。また、夏休み期間中に「おはようビーチクリーン 2015」を開催し、子供たちを中心としたビーチクリーンを実施しました。さらに学校の総合学習の受入れ（学校キャラバン）や企業研修の受入れも積極的に行う一方、海外からの研修生も受け入れたり、音楽イベントや環境展等への出展、また、Facebook ページからの情報発信を強化するなど、より幅広い方々に海岸美化を呼び掛けました。



平成 27 年度 春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ実施結果

春 ビーチクリーンアップかながわ 2015

春の県下一斉ビーチクリーン「ビーチクリーンアップかながわ」を各市町で開催されるごみゼロクリーンキャンペーンに合わせて、ボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

ビーチクリーンアップかながわ 2015 結果概要

実施期間	平成 27 年 5 月 6 日～平成 27 年 6 月 7 日		
開催場所	神奈川県内 39 会場		
参加人数	14,226 名		
ご み 量	可燃	18,097 kg	
	不燃	7,798 kg	
	合計	25,895 kg	
主 催	公益財団法人かながわ海岸美化財団		
共 催	横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・小田原市 茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町・大磯町 二宮町・真鶴町・湯河原町		
後 援	神奈川県		
協 力	各ボランティア団体		



秋 国際海岸クリーンアップ 2015

一般社団法人 JEAN を中心に実施されるごみ調査を兼ねた海岸清掃に合わせて、県下一斉ビーチクリーン「国際海岸クリーンアップ」をボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

国際海岸クリーンアップ 2015 結果概要

実施期間	平成 27 年 9 月 5 日～平成 27 年 10 月 4 日		
開催場所	神奈川県内 23 会場		
参加人数	2,061 名		
ご み 量	可燃	2,881 kg	
	不燃	2,715 kg	
	合計	5,596 kg	
主 催	公益財団法人かながわ海岸美化財団		
共 催	一般社団法人 JEAN		
後 援	神奈川県・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市 小田原市・茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町 大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町		
協 力	各ボランティア団体		



大人から子供まで、さまざまな環境学習を受け入れました 環境学習の推進

内 容	件 数	人 数
学校キャラバン	41 件	2,915 名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	24 件	2,514 名
教職員体験研修の受入れ	5 件	7 名
中学生等の職業体験の受入れ	3 件	27 名
海外研修生の受入れ	2 件	15 名

夏休み期間に「おはようビーチクリーン 2015」を開催し、子供たちの環境学習の受け皿となる取組を実施しました。また、学校の総合学習の受入れ(学校キャラバン)だけでなく、企業の環境貢献活動等の受入れも積極的に行い、2,500 人を超える社会人に海岸美化を訴えました。さらに、国内だけでなく海外からの研修生も受入れ、財団の成り立ちから具体的な清掃方法までレクチャーし、幅広く海岸美化を呼び掛けました。

おはようビーチクリーン 2015



7月 12 日・8月 2 日の 2 日間、茅ヶ崎市汐見台海岸で地元の青少年育成推進協議会、株式会社ジェイコム湘南、TSSA、有限会社永塚製作所のご協力を得て、「おはようビーチクリーン 2015」

を開催しました。開催予定だった 8 月 23 日は高波のため中止になりましたにもかかわらず、2 日間で 210 名の参加があり、187kg のごみを回収することができました。

学校キャラバン [伊勢原市立緑台小学校の取組み]

6月 18 日、伊勢原市立緑台小学校に「学校キャラバン」に行ってきました。

対象の 4 年生は社会の授業で環境について学ぶため、とても関心が高く、学校が位置する相模川上流と海岸とは水の流れで繋がっていて、上流域のごみも川を通じて海岸まで流れてくることを話しました。



企業等の環境貢献活動等の受入れ [大東建託株式会社 平塚支店の取組み]



2月 11 日、平塚市ビーチパークで、大東建託株式会社平塚支店の企業研修の受入れを行いました。ビーチクリーンアップ前に財団職員から海岸ごみの話をした後、くつきり富士山の見える海岸で、同社が製作し、財団に寄贈していただいた、可愛いオリジナルキャラクター“だいとくん”的ごみ袋で、細かいプラスチックごみもひとつ丁寧に回収することができました。

教職員体験研修の受入れ

7月・8月に、神奈川県教育委員会の教職員体験研修を計5回、7名を受入れました。

財団職員と一緒に海岸をまわって、ごみの漂着状況を確認したり、実際に清掃したりしながら、海岸ごみの実態の認識を深めていただきました。



職業体験の受入れ [神奈川県立産業技術短期大学校]



8月24日～25日の2日間、神奈川県立産業技術短期大学校1年生4名の職業体験を受入れました。

財団職員同行し、海岸をパトロールしたり、直営清掃部隊の皆さんとともに、炎天下の海岸で清掃作業を行ったりと実践的な仕事を体験してもらいました。

海外研修生の受入れ

11月12日に、JICA国別本邦研修「タイ地方環境研修」を受入れました。

また、2月23日には、神奈川県海外技術研修員の受入れを行いました。コモロ連合とベトナムから来日した研修員は財団職員と一緒に海岸をまわって、清掃方法などの講義を行いました。



海岸美化キャンペーンの実施

パネル展の実施



企業やボランティア団体、行政からの依頼で、音楽イベントや環境展等へブース出展したり、ビーチクリーンアップ等の際にパネル展示を行い、海岸美化を呼び掛けました。

(年間出展数：24件)

イベント出展 [湘南なぎさフェスタ 2015]

10月18日、藤沢市の湘南海岸公園で開催された「湘南なぎさフェスタ2015」に出展し、海に落ちているビーチグラスなどでオリジナルの写真立てをつくる「Beach Glass Craft」と顔などにビーチクリーンシールを貼る「フェイスシール」を実施しました。



イベント出展 [フェイスシールとパネル展]



12月23日と1月9日、湘南モールフィルにて、「フェイスシールとパネル展」を開催しました。海岸美化募金をいただいた方にフェイスシールを差し上げ、たくさんのご家族に参加していただきました。

平成 27 年度 ご協賛について

平成 27 年度も多くの企業・団体様にご協賛いただき、海岸のごみ箱の整備、海岸清掃ボランティアへのごみ袋・軍手の無償提供、美化啓発イベントなどを実施することができました。
ありがとうございました。

美化財団では、随時、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。皆様からのお声かけをお待ちしております。



ご協賛いただきました株式会社クオカードの皆様と当財団代表理事

平成 27 年度 協賛一覧

物品協賛

日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
大東建託株式会社 平塚支店
株式会社グリーンルーム
有限会社永塚製作所
湘南藤沢市民マラソン実行委員会
公益財団法人小田急財団
横浜マリノス株式会社
有限会社サニー（順不同）



寄付金

株式会社クオカード
有限会社サニー
株式会社ケイエムシー
江の島ピーエフアイ株式会社
ジョンソンコントロールズ株式会社
リコージャパン株式会社
横浜銀行 横浜/バンクカード会員
マルイグループ福祉会
ジーエスエムジャパン株式会社
株式会社モメンタム ジャパン
テラサイクルジャパン
株式会社ルミネ 藤沢店
株式会社湘南なぎさパーク
109 シネマズ海岸美化募金
積水ハウス株式会社 神奈川カスタマーズセンター（順不同）



当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

